

# WEEKLY

# 一宮

題字 PG 安野謙次



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary  
Ichinomiya



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日

●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858



## 世界に希望を生み出そう

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:[rc138@lily.ocn.ne.jp](mailto:rc138@lily.ocn.ne.jp)

### 2023年7月20日 第3556回例会

プログラム

クラブアッセンブリー

前年度事業・決算報告

今年度事業・予算報告

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

第3555回例会の記録  
2023年7月13日(木)

会長挨拶

足立 誠

今日は先週のお話の荀子の「性悪説」を受けまして、「性善説」についてお話したいと思います。

「性善説」を唱えた思想家で著名なのは、皆さんご存知の孔子であります。主著に『論語』があり、数々の教訓的名言を残しています。「巧言令色鮮し仁」とか「四十にして惑わず」とか大変よく知られています。余談ですが、本家の中国では、中国史上大きな出来事であり「文化大革命」以降、宗教・文化の分野が大打撃を受け、現在に至ってしまして、逆に江戸時代の体制を維持すると同時に、武家のみならず日本の社会全般に好意的に受容され、結果「孔子廟」なるものが日本の各地に点在しています。ここで、仏教は「性善説」・「性悪説」のどちらをその立場として取るのかと申しますと、「性善説」であり「仏性」という言葉に端的に示されています。仏となるべき性質を、あらゆる人、ひいてはいのちあるものすべてが、内にも秘めているとしています。

次回の予定

7/27 例会変更 夜間例会

8/3 青少年交換学生帰国報告

会長 足立 誠 会長エレクト 佐々木久直  
幹事 富田 隆裕 副幹事 鶴飼雅弘  
副会長 山上 哲司 会報委員長 野村和弘

ロータリーの友7月号

大鹿晃裕

横組みにゴードン・マッキナリーRI会長からのメッセージがあります。

今年度のテーマ「世界に希望を生み出そう」です。そして、ロータリークラブの目標は例会から奉仕活動まで、クラブに対しての帰属意識を高めることにあり、クラブには自分の居場所があると思えるようにする必要があり、多様性、公平さ、全てを受入れる一体性に焦点を当てての活動を進めて行くにあります。また、会社経営者、組織のトップの方は既に直面しているかと思いますが、従業員及び、部下の心の健康問題への支援を目指すプロジェクトにも優先的に取り組んで行きます。

次の特集として、「ガバナーの横顔」です。各地区のガバナーの人間味のある紹介が掲載されています。

縦組みは、最初に元厚生労働事務次官の村木厚子さんのスピーチです。会社経営者、組織のトップの方は女性がより活躍できる組織・社会づくりに代えなければ世界から取り残されてしまう事は既にお考えかと思いますが、こちらも多様性、公平さ、全てを受入れる一体性を考えて進めるのが良いのではと思います。

委員会報告

ニコボックス

近藤尚文

☆ 森 克彦君

7月9日から12日まで4年ぶりに中国へ出張しました。現在、中国の入国に際してはWeChat のアプリを使って健康申告(コロナウイルス陰性)を出発の24時間以内に行ってQRコードでスマホに保存し、そのQRコード画面を当日に税関で提示する必要があります。本番に備えてその操作を繰り返し練習したおかげで、何とかクリアすることができた喜びで。

☆ 渡邊 肇君

昨年に続き「こども食堂」でお世話になるNPO元気ふれあい倶楽部・代表の水島様と小島様をお迎えして一宮市のこども支援事業の実情をお話ししていただきます。

☆ 足立 誠君 富田隆裕君

本日はNPO元気ふれあい倶楽部・代表の水島邦雄様、わくわくキッチン担当の小島歩様をお迎えする喜びで、どうぞよろしくお願いたします。

## 出席報告

現在の会員数	110名
本日の出席数	68名
前々回の出席率	100%

\*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

卓話

水島邦雄氏

(NPO 元気ふれあい倶楽部代表)

小島 歩氏

(わくわくキッチン担当)

テーマ「2022年ロータリークラブの支援を通じて学んだ現状と目標」



### (1) 活動を通じて学んだ現状

1. 全体的な地域の関与が不可欠: こども支援は、単独の組織や個人だけではなく、地域全体の関与と協力が必要です。地域の学校、保育園、地域団体、地域の住民など、さまざまなステークホルダーが協力し、総合的な支援体制を構築する必要があります。自治体・学校・自治会がそれぞれ個人情報保護法のもと情報の共有ができず、包括的な支援に繋がっていない
2. 多様な支援プログラムの提供: こども支援は、一人ひとりの子どもの個別のニーズに合わせた多様なプログラムを提供することが重要です。学習支援、保育支援、メンタルヘルス支援など、幅広い分野での支援が必要とされます。地域のリソースや専門家の知見を活用し、子どもたちが多様な機会を持つことができるようにします。
3. 早期支援の重要性: 早期支援はこどもの発達や福祉において非常に重要です。早期発見と早期介入が、問題の予防や早期解決につながります。地域では、保健所や教育機関との連携を強化し、早期支援の体制を整えることが求められます。
4. 地域のリーダーシップと資源の活用: 地域のリーダーシップは、こども支援のための重要な役割を果たします。地域のリーダーは、こども支援に関心を持ち、地域の資源を最大限に活用するための取り組みを進める必要があります。また、地域の経済的な資源や施設を活用し、こども支援のための環境を整備することも重要です。
5. 地域の包括的なアプローチ: こども支援は、教育だけでなく、保健、福祉、文化、スポ

ーツなどの多角的なアプローチが必要です。地域は、さまざまな分野の専門家や関係者と連携し、包括的な支援体制を構築することが求められます。

6. 参加と参画の促進: 支援のあり方を参加者が学ぶためには、子どもや保護者、地域の住民の参加と参画が欠かせません。地域イベントの開催、意見交換の場の提供など、地域の人々が積極的に関与できる仕組みを整え、多くの方々の注目を集める催しを周知する必要がある。

### (2) 貧と困を分けて考える

#### 1. 貧困と困窮を分ける

貧困・困窮、どちらとも困っていることを言い表しますが、家庭や個人の生活水準や経済的な安定に直接的な影響を与えます。コロナ禍をへてごく一般的な家庭でも変化がおきていた。こども達に与えた精神的なストレスである。今では経済的貧困と精神的貧困と2種類の貧困が生まれた。

#### 2. 精神的貧困

コロナ禍において、こども達の精神に大きなダメージを与えた。

社会的な孤立、人間関係の問題、心理的な疾患、人生の目標や意義の喪失、文化的な排除、負のストレスなどの関与にて、不登校者激増、自傷行為にて命を絶つものまで現れた(2022年若年層自殺者過去最多を更新)こどもだけでなく、成人女性にも同じ傾向が表れた。

#### 3. 地域企業の応援がもたらす市民への安心感

コミュニティーの支援と参加、地域企業が地域のイベントやプロジェクトに積極的に参加する姿が、市民への安心感につながります。企業が地域の活動に関与する姿勢は、市民にとって地域の一員としての誇りや帰属感を生み出し、安心感を高めることに繋がります。市民の目に触れる機会を増やし、市民への安心感を与え企業イメージ向上並びに、従業員満足度向上にもつながり、やがては地域全体の結成に繋がります。

#### 4. 声なき声を見つけ、地域全体で支える

2023年15歳以下の児童数は約3万人、そのうち9.5%(2850名)が貧困家庭の児童数だと言われている。このこども達が市内23連区に存在する。拠点を構え活動を行ったこともあるが、経済的理由にて通えないこども達がいた。そのことから、我々が移動しながら会いに行くスタイルに変更『こども食堂キャラバン』として市内23連区を巡回しながら開催、現在は『地域・企業・市民』のチームによる、こども達を支援する組織を作りながら活動中である。

5. これらの要素を考慮しながら、こども支援を通じて地域社会全体の発展と共に、子どもたちが安全で健やかに成長できる。社会のあり方を築いていくことが我々の目指す目標です。